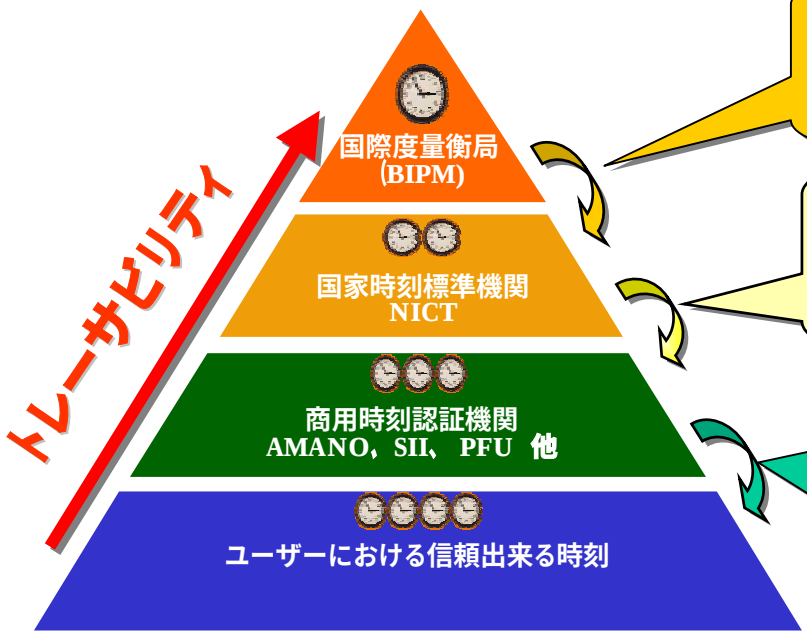
タイムビジネスと日本標準時

情報通信研究機構
日本標準時グループ
NiCT

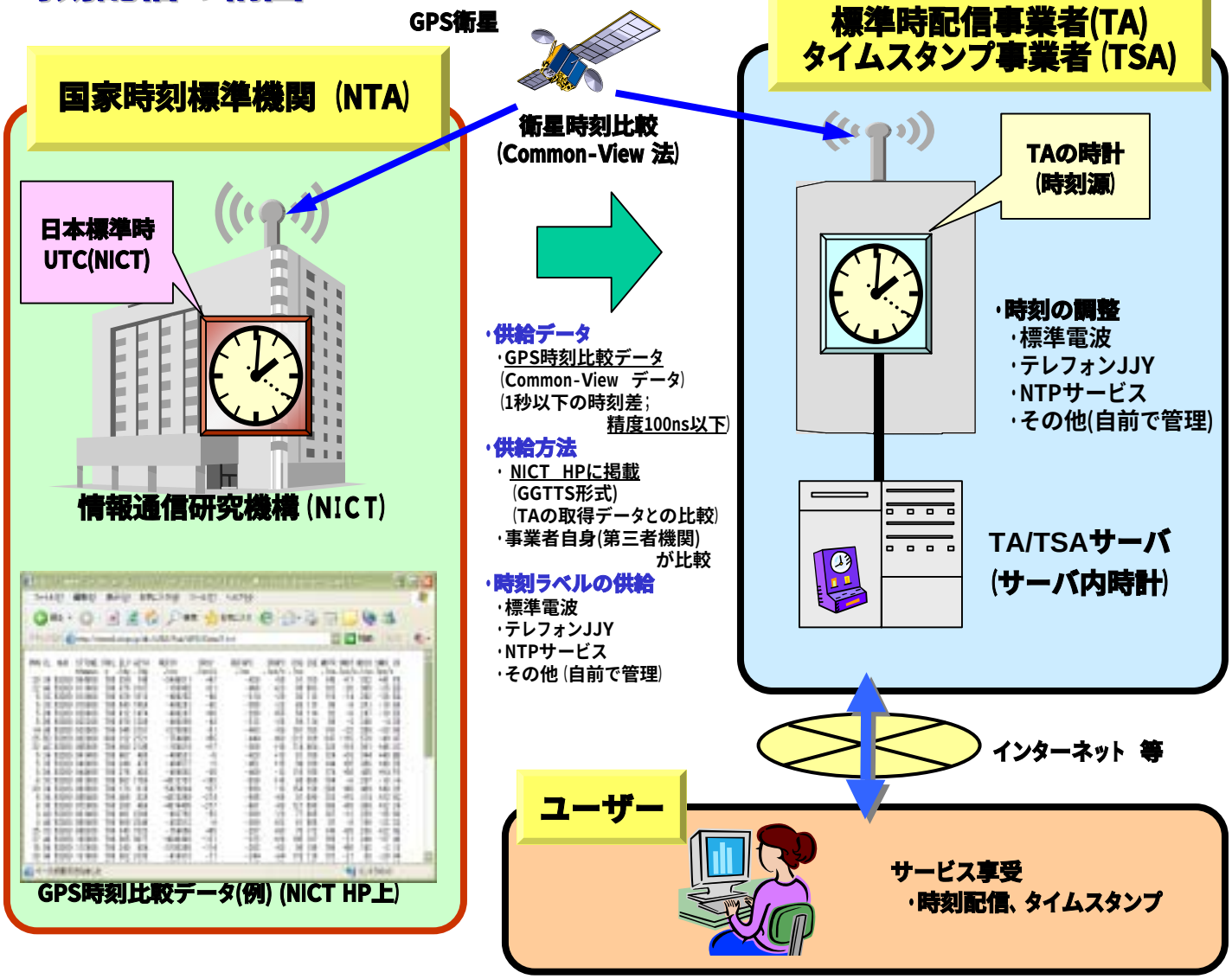
トレーサビリティの確保



世界中の標準機関が保有する原子時計データを基にBIPMが協定世界時UTCを決定し、各国の頂点となる標準時はそれに同期している（国際基幹比較確立）

ここのつながりを確保する手段を提供する事により、ユーザーが利用する時刻と国家の時刻とのトレーサビリティの構築可能

時刻認証事業者によるサービスの提供

e-timing　Chronotrust　SecureSeal

時刻配信の構図